

J R 東海労
大二運分会

交差点

No. 214
2008年 12月25日
責任者：高原弘幸
発行：教宣部

運転妨害・パワハラ！！

許されない！住田幹鉄事運輸営業課長代理（元大二運輸所運転科長）の蛮行！！

年末年始安全輸送実施期間の最中である12月24日、東京駅発車3分前の分会組合員担当列車に突然、住田幹鉄事運輸営業課長代理が添乗してきました。

住田課長代理は、添乗するやいなや組合員が、きちっと行った「知照」に対して、「言いがかり」を付け、発車前に運転に集中出来ない状態をつくりました。また、品川駅発車後には、過去、大二運輸所指導科長時代に行った「安全運行を無視した試問」と同じやり方の試問（共通掲示第61の内容は何が書いてあったか答えろ）を執拗に繰り返し行い、さらに組合員は運転に集中出来ない状態にさらされました。

組合員が再三「運転に支障きたします。止めて下さい」と訴えているにもかかわらず、呆れたことに、またまた（共通掲示第61号には何が書いてあったか答えろ）と試問を続けました。

東京～新横浜間という駅間が時間僅少の上、信号現示変化が最も著しい区間に添乗し、矢継ぎ早に試問と罵声……！

住田課長代理は過去、大二運輸所指導科長時代に、私たち東海労大二運輸所分会が「一方的な休日勤務」反対の闘争を展開していたちょうどその時に、闘争破壊の先兵として闘争破壊と組織破壊を目的とし、当時の竹本分会長に今回の添乗と同様の「運転妨害・パワハラ」を執拗に繰り返す添乗をしてきました。また、一部組合員にも執拗に同行為を行いました。

今回、組合員に添乗した住田課長代理も過去同様、「運転妨害とパワハラ」を繰り返し行いました。そして試問でも課長代理は大二運輸所の部外なのに「共通掲示第61・・・」と大二運輸所の掲示を事前に周知して、いきなり迫っているところから、大二運輸所管理者も当然絡んでの「会社ぐるみ」の組織的で悪辣な安全無視の異常添乗だと言わざるを得ません。（東京の運輸所でも最近この様な異常な添乗が発生しているそうです）

繰り返される組織破壊を目論んだ、狙い撃ち・安全無視の異常添乗を直ちに止めろ！！